

<p>交流ニュース 第80号 2011年8月</p>	 <p>フレスタ Friendly Star</p>	<p>学園&地域交流ネットワーク 八幡西区折尾 4-10-1 http://friestar.com info@friestar.com</p>
------------------------------------	---	---

= 『障害者施設と地域の架け橋事業』 報告会 =

7月21日、昨年度の北九州市きらきら助成金の報告会があり、パワーポイントを使って報告をしてきました。

このパワーポイントと報告内容については、この事業と一緒に実施した「瀧懸はまゆう太鼓」の故・中西樹一氏（6月8日死去）が最後に残してくれたものです。審査委員の方々からは当会の一年間の活動も評価していただき、パワーポイントの作り方も整理された分かりやすい内容で素晴らしいとお褒めの言葉をいただきました。

今回の事業の打ち上げを4月にした際に、皆さんの前でこの報告会の内容を発表された姿が思い出されます。当会にとって、とても大切な存在でした。突然の訃報に愕然としましたが、中西氏の想いを引き継いで、今後も「障害者施設と地域の架け橋事業」の活動をしていきたいと思えます。

ここに、生前のご厚情に深く感謝すると共に、故人のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

= 授産品バザー開催 =

台風6号の影響が心配された7月20日、今年度第3回目の「授産品バザー」を「旧ゆめ広場」にて開催いたしました。

今回はバザー会場として使える場所が諸般の事情により、お好み焼きのお店「さんさん」側に移動しました。距離にしたらほんの数メートルの移動でしたが、影響は大きく、人の流れが変わり、授産品バザーへの来場者は先月に比べ随分少なかったことが残念です。来月のバザーに向けて、よりよい方法を皆で模索していかなければと痛感しました。

「未来サポートステーション北九州」からは先月に引き続き数名の方に来店していただき、販売の協力をいただきました。ありがとうございました。

この日の販売額は	「旧ゆめ広場」売り上げ	： 33,450 円
	「協力店」売り上げ	： 12,500 円
	<u>総売り上げ額</u>	： 45,950 円

= 『折尾レトロ観光』（北九州市きらきら助成金） =

「折尾レトロ観光」のリーフレットを作成するにあたり、資料などを調べれば調べるほど、どうして？と疑問に思うことから、また更に深く学ぶことが多くあります。

西鉄電車（北九州線）は、鹿児島本線と競合しないように、折尾と黒崎間は、電車を走らせないという約束だったと聞いていましたが、それがどうして走るようになったのか、その謎が判明しました。また、堀川運河を高速道路とすると、折尾はサービスエリアになるが、どうして折尾に留まるようになったのか。どうして、折尾駅前広場が無いのに折尾駅舎が現在の位置にできたのか。どうして、折尾が戦火を逃れられたのか。原爆や爆撃が八幡製鐵所などにどうして落とされなかったのか。この、どうして？の裏側に秘められたトリビアなお話などや、折尾出身の偉人、東京都美術館や別府の野口病院を建てた佐藤慶太郎氏のことなど。。。乞うご期待ください！！